

2025 年 10 月における評価方法の変更等の概要

■ 評価方法の変更について

評価方法を次の通り変更しました。

<コージェネレーション設備>

1. 排熱を給湯に用いないコージェネレーション設備は、「排熱を暖房のみに用いるコージェネレーション設備」に変更されました。また、温水暖房用熱源機の効率としてコージェネレーション設備に接続するガス潜熱回収型給湯温水暖房機の効率を用いることができる機器の確認方法と品番リストの公開方法が変更されました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第八章「コージェネレーション設備」

■ 上記以外の修正等について

技術情報等を次の通り修正しました。

<暖房設備>

2. 2025 年 4 月における評価方法の変更において、薪ストーブが評価対象から除外されたことに伴い、薪ストーブに関連する部分を削除しました。また、ペレットストーブの節番号を「第十章」から「第九節」に変更しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第四章「暖冷房設備」第一節「全般」
 - 技術情報の第四章「暖冷房設備」第九節「ペレットストーブ」

<外皮>

3. 引用規格を本文の引用と整合するよう修正しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第一節「全般」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」
4. 付属部材の名称について、熱貫流率の計算で用いる「障子」を「和障子」に修正し、日射熱取得率の計算で用いる用語と統一しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第一節「全般」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
5. 窓の建具の名称について、日射熱取得率の計算で用いる「金属製熱遮断構造建具又は金属製建具」と、熱貫流率の計算で用いる「金属製建具」、「金属製建具又はその他」を、「金属製建具又はその他の建具」に統一しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」

以 上

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。
「資料」、「Excel ツール」および「WEB アプリ」とは、WEB サイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。